



内 容

家庭分野

学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4	オリエンテーション
	5	○ふれ合い体験をする。 ・ふり返りをする。
	6	○幼児の体の発達
	7	
2 学 期	9	・自分の成長を振り返り、子育てにおける家族の大切さを考えよう。
	10	○幼児の生活と遊び
	11	・実習の準備
	12	・幼児にふさわしい「絵本」をつくらう。
	12	・幼児とのふれあい
3 学 期	1	・最後のふれ合い体験を考える。
	2	・「3年間のまとめ」と「15年後の自分」を考える。
	3	

評 価

家庭分野 <評価の観点>

- ① 生活や技術への関心・意欲・態度
 - ・授業の取り組みを良くする。(聞く姿勢、話す姿勢、調べる姿勢、作業に集中して取り組む姿勢。)
 - ・制作に必要な用具、物を準備して、作業に進んで参加する。
- ② 生活を創意工夫する能力
 - ・作品制作において自分なりに創意工夫して表現する。
 - ・整理整頓に心がけ、作業のしやすい状態に整える。
 - ・生活環境への適切な気配りができるようにする。
- ③ 生活の技能
 - ・衣食住など家庭生活に関する生活をよりよくしようとする改善、努力する態度がある。
 - ・調理用具を利用し、短時間で料理や味付けができる。
 - ・裁縫道具、ミシンなど縫製に関する用具の便利さと安全性に気をつけて使うことができる。
- ④ 生活や技能についての知識・理解
 - ・授業中の記録がわかりやすくまとめることができる。
 - ・自分の作品について、自己評価を行い、今後の学習の参考に生かすことができる。



<評価の方法>

・毎時間の授業への取組(発表や活動内容・聞く・話す・調べる、実践する)、作品の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、整理整頓、用具機械の安全な使用などの自己評価、他己評価、定期テストなどを基にして総合的に評価する。

授業中

- ① 授業の準備をする。(道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
- ③ 創意工夫して作品を制作する。

復習

取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。(遅れている場合、自分のできることを行う。)
*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。



※ 安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。